

沖繩学の祖・伊波普猷と杉並



那覇市歴史博物館提供

家の比嘉春潮氏の家で、比嘉氏も杉並に長く居住していました。

沖繩タイムズが主催する「伊波普猷賞」の第一回受賞者は、角川

書店創設者・角川源義氏です。

『おもろさうし』など、沖繩関連資料の出版に尽力した角川氏は、荻窪に住んでおり、その自宅は杉並区に寄贈され、現在「すぎなみ詩歌館」になっています。

また、角川氏が受賞した「伊波普猷賞」の記念額は杉並区立郷土博物館に所蔵されています。

しかし、これらのことは残念ながらあまり知られていません。

講演会では伊波普猷氏の軌跡をたどり、杉並との関連にふれて頂きます。

沖繩県立図書館長等

を務め「沖繩学の創始

者」と言われる伊波普猷

氏は一時、高円寺に居住

していました。

上京中に客死した時

に仮寓していたのは、エ

スペランチストで歴史

日時：10月13日（土）

14：00～16：00（開場13：30）

場所：高円寺図書館1階 講座室

講師：勝方＝稲福恵子

（早稲田大学名誉教授）

定員：30名（申込順）

申込：電話または直接、図書館へ

TEL03-3316-2421（申込受付開始9月15日～）

